

第 2 回成年後見制度活用セミナー報告書

日 時：平成 30 年 11 月 3 日（土） 13 時 30 分から 15 時 50 分

会 場：周南市ゆめプラザ熊毛

テ ー マ：社会福祉士が担う成年後見人のお仕事

参 加 者：72 名

報 告 者：権利擁護センターぱあとなあ山口 藤本稔

報告作成日：平成 30 年 11 月 15 日

（本文）

平成 30 年 11 月 3 日（土）13 時 30 分から周南市ゆめプラザ熊毛にて、「社会福祉士が担う成年後見人のお仕事」というテーマで、成年後見制度活用セミナーを開催し、72 名の方が参加されました。成年後見制度における社会福祉士の役割、身上監護の実態に焦点を当て、実践発表を通して参加者にわかりやすく理解を深めていただきました。

初めに、ぱあとなあ山口の上田委員長から「権利擁護センターぱあとなあ山口の生い立ちと社会福祉士の果たすべき役割」について説明があり、次に、ぱあとなあ山口会員 3 名による後見活動の実践発表がありました。室本会員から「親亡きあとの支援～支援チームが本人らしい生活を支える～」、服部会員からは「ケースから見てきた課題」、井上会員からは、「障害者施設から高齢者施設への移行支援」というテーマで、社会福祉士後見人として感じている悩みや葛藤、また楽しさやソーシャルワーク専門職である社会福祉士ならではの後見活動について、事例を通して発表いただきました。参加者アンケートからは、「後見人の活動内容やジレンマ、また現場の生の声を聴くことができ勉強になった」、「権利擁護に関するセミナーを定期的で開催してほしい」、「セミナーと合わせ一般向けの相談会を開催してほしい」などの、ご意見を多数いただくことができました。

